

日本共産党区議会議員

**こんにちは伊藤和彦です**

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952  
 足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)  
 日本共産党区議団 直通3880-5770  
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

# 大震災と原発事故の 教訓を活かした区政の 第一歩の予算にすべき



## 日本共産党の新年度予算に対する討論

**「時代の変化に挑む」と言いつて  
区民に負担押しつけるな!**

日本共産党が予算特別委員  
会で行った討論(3月9日・  
はたの昭彦議員)は以下の通  
りです。

私は日本共産党足立区議団  
を代表して、第5号(一般会  
計)、第6号(国保特別会計)、  
第7号(介護保険特別会計)、  
第8号(後期医療特別会計)  
議案に反対、予算修正案に賛  
成の態度を表明し討論を行な  
います。

大震災と原発事故は国と地  
方の政治、経済、社会のあり  
方を問い直し、絆の大切さを  
再認識させました。今予算は  
昨年の大震災と原発事故を経  
験して組まれる初めての本格  
的な当初予算です。震災の教  
訓を生かした新しい区政の第

一步の予算となることが求め  
られてきましたが、そうした  
姿勢に乏しいだけでなく逆行  
するものであり、賛成できま  
せん。

原発依存から抜け出し、自  
然エネルギーへの転換を図る  
ことや災害対策を抜本的に強  
める問題で、原発ゼロどころ  
か実質再稼働をすべきと言う  
に等しい立場を表明し、自然  
エネルギーへの切り替え、C  
O<sub>2</sub>削減の中長期目標を出す  
ことにも消極的です。また重  
点施策の予算の内18%が防  
災対策と言いつながら、大半は  
道路整備等の経費で29億円  
余のすべてが既存の事業を膨  
らませたにすぎず、新規事業  
は一つもありません。

また「明日のために時代の  
変化に挑む」と言いつますが、  
生きがい奨励金の削減、学校  
開放の有料化、生業資金の廃  
止など区民施策の切り捨てと  
負担増を進め重大です。わず  
か350万円の予算で40前  
後の事業者が多彩な介護予防  
事業を行える、「介護予防サ  
ブス事業者支援事業」までも  
廃止してしまいました。



地域の力、絆と言いつますが

男女共同参画組織の縮小やリ  
サイクルセンターの運営を区  
民から株式会社に変更するな  
ど、絆を断ち切るやり方に怒  
りが広がっています。

千寿第5小学校の統廃合は保  
護者だけでなく地域全体も反  
対し、署名は1万1756名  
に達し、地域の防災拠点が無  
くし、絆も壊す行為そのもの  
です。

「足立はばたき塾」は学力  
優秀な中学3年生100人を  
選抜し、一人38万円をかけ  
超進学校に進学させるための  
もので、競争と差別選別の教  
育を拡大するもので、教育の  
機会均等の原則から見ても重  
大な問題があり、公教育のや  
るべきことでは無く、到底こ  
れらの予算は認められませ  
ん。区は財政危機をことさら煽  
っています。基金額はバブル  
期より多い856億円で23  
区第2位、弾力化の指標であ  
る経常収支比率も23区平均  
であり、実態は豊かではない

にしても区民を支える余力は  
十分にありません。

わが党は、しっかりとした  
財政と予算の分析の上に予算  
修正案を提出し、「時代の変  
化に挑む」新しい区政の第一  
歩となる方向を示しました。  
修正案は、ため込んだ基金の  
わずか2.3%を活用し、年  
間予算のわずか0.71%を  
増額するだけで、72項目の  
新規拡充事業が出来、財源的  
にも十分可能です。

その内容は住宅リフォーム  
助成の拡充で仕事を起こし地  
域経済の活性と循環型の経済  
へと転換を図り、子育て応援  
や介護の負担と不安を軽減す  
るための施策を充実させ、少  
子高齢化に歯止めを掛け、子  
育てを応援します。生業資金  
や鹿沼野外レクリエーションセ  
ンター、生きがい奨励金、学  
校開放など、必要なのに削ら  
れた区民サービスの復活で、  
くらしを応援するものとなつ  
ております。

国保・介護・後期高齢者医  
療の各特別会計については税  
と社会保障の一体改革の流れ  
に乗った負担増・値上げのト  
リップパンチであり、認める  
ことは出来ません。  
以上を述べまして、討論を終  
わります。



質問する伊藤和彦議員

# アレフ(オウム真理教)側の請求棄却 東京地裁判決「足立区の処分適法」 道路占用不許可処分は妥当

判決はオウム真理教(アレフ)の主張を退け、請求を棄却し、訴訟



区議会災害オウム対策調査特別委員会では地域住民、足立区と連携して引き続き、オウム真理教(アレフ)とのたたかいに全力をつくします。区民のみなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

許可しなかったのは不当だとして、区に不許可処分の取消し等を求める訴訟について、3月13日、東京地方裁判所は請求を棄却する判決を言い渡しました。

区議会には裁判の論点整理の報告がされ、その中で区は「道路占用許可申請を認めることはアレフ建物のサティアン化を促すことになり付近住民との対立を激化させ、公益に反する」と主張していました。判決ではこうした点も認めつつ、すでにプロパンガスを使用しているアレフに実害はないと断定、「公益上やむを得ないとした足立区の判断は適法」と請求を棄却したものです。今後アレフ側が上告すれば、さらに長期のたたかひになります。

アレフ関連会社が足立区入谷の建物に都市ガス引き込み工事のため道路占用許可申請を足立区が

費用も原告の負担とするという足立区全面勝訴の判決となりました。



質問に立つ伊藤和彦議員

## 竹の塚公共駐車場 日本共産党の質問

3月予算委員会での日本共産党の質疑要旨をお知らせします。

質問ー竹の塚公共駐車場(古性ビル)の運営に業者が持っているビルの維持について聞く。22年度決算では区の駐車場収入はゼ

口田だつた。固定費用を2780万円も古性ビル側に払っている。私は、もともと特定事業者が持っているビルの維持管理費用も含まれているのではないが、高すぎると

## Fビルに続き 天空劇場の改善を提案



指摘してきた。今年度改善され、駐車場運営の専門会社に一部業務委託することになった。これにより駐車場収入は、平年ベースでいくらになるか?

質問ーFビルは少しずつでも改善が図られているが、天空劇場(東京芸術センター)の方は迷走を続けている。

質問ーそれは34万円の利率に税金を投入することの問題点を指摘し続けると、その

空気に一日34万円と、空気に一日34万円の利率に税金を投入することの問題点を指摘し続けると、その

改修で使えない中、ギャラクシティ利用団体の区民が練習や発表をする場として、無料開放し、「区民の文化力、地域の力を培ってもらう」ために支援するべき。区が支払っている営業日の6割、219日の範囲で、区内で意思決定をすれば、当面の間ギャラクの代替施設として活用することは可能だと思いませんか?

## 特養ホーム5ヶ所

区は3月の議会で特養ホーム(特別養護老人ホーム)5ヶ所の建設に着手すると、次の設置予定場所を明らかにしました。

佐野 六月 西新井(第一団地) 入谷 古千谷本町

区はこれを含め1000床の特養ホーム増設をめざし大前進ですが、足立区の特養待機者は約4000人。緊急度が高いといわれる「A」ランクだけでも2000人います。

1000床で良しとせず更なる増設が必要です。



九の区民参加を公募し、半年かけてみんなで舞台を作り上げ、演目として発表。こういったことこそ支援すべきことを求め質問を終わる。

区は「絆」とか「文化支援」というなら、文化について地域の力を支援すべき。ギャラクシティが

質問ー天空劇場は、当初エンチャレが練習に使ってたが、11日の利用。まだ空いている。例えば「歓喜の演」。演劇連盟と合唱連盟が中心となって、区民による区民のためのイベントとなっている。狂言や第